

水漏れ確認手順

eSpring浄水器
据置き型

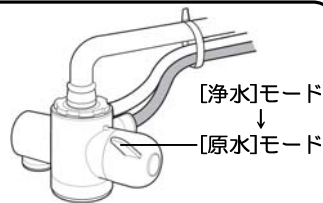
水漏れ確認をする前に、安全確保のため、次の注意事項を必ず守ってください。

- 電源プラグをコンセントから抜いて、浄水器の電源を完全に切って下さい。
- 水漏れ点検の作業中は、本体のまわりにタオルなどを重ねて置いて下さい。

・切り換えバルブやホースに残っている水を抜く方法

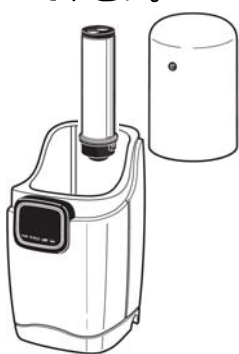
水を止めた状態で切り換えレバーを[浄水]モードにして浄水器内の圧力を抜き、その後、切り換えレバーを[原水]モードに戻します。

※この作業が終わりましたら、下記の確認手順へお進み下さい。



本体内部からの水漏れ確認手順

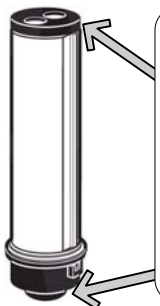
- ①フィルターと紫外線（UV）ランプを本体から外して下さい。



フィルターを本体から取り外すときに、フィルター内部にたまっていた水が底部から漏れますので、モニターにかからないようにご注意ください。

本体内部に水が残っている場合は、水を捨ててからタオルなどで内部を拭いて下さい。

- ②紫外線（UV）ランプおよびフィルターに、変形や破損などが無いか、ご確認ください。



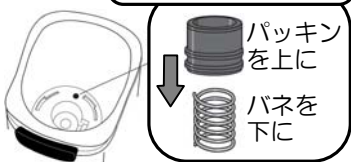
紫外線ランプの上下ゴムパッキンをご確認ください。

- ①パッキンに変形や損傷がないか。
 - ②パッキンがきちんと溝についているか。
- ※位置がずれている場合は、つけ直して下さい。

変形や破損がある場合は…
相談ホットラインへご連絡下さい。

- ④本体内部に水漏れ防止パッキンがあるか、黒いパッキン部分を上から押して戻ってくるか、ご確認ください。

水漏れ防止パッキン拡大図



※パッキンは2mmほど飛び出した状態が正常です。

- ⑤紫外線（UV）ランプとフィルターを本体に取り付けします。



フィルターの“eマーク”が正面の位置にきているかチェック！

フィルターを時計回りに回してみても、動かずに止まっていれば正常です。

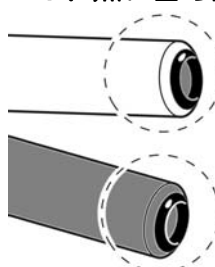
もし動くようなら、しっかり止まる位置まで回して下さい。

- ⑥本体のフタは開けたまま水を通して、フィルター底部から水が漏れていないか、ご確認ください。

水漏れが直らない場合は⑥に戻り、取り付け直しをして下さい。

本体底部からの水漏れ確認手順

- ①本体からホースを外して、ホースの先端に傷がないか、黒い留め具がついているか、ご確認ください。

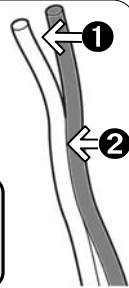


ホースに傷がある場合は、黒い留め具を一旦取り外し、傷のある部分をカッターなどで切り取って下さい。

黒い留め具がついていない場合は、相談ホットラインまでご連絡下さい。

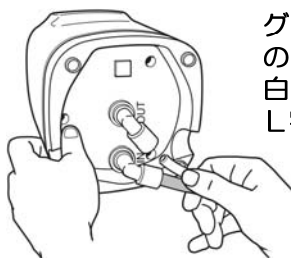
※ホースが外れない場合は、下記の**ホースの抜き方**をご覧ください。

ホースはIN側とOUT側が元々離れている箇所(右図①)と接続されている箇所(右図②)があります。本体へホースを取り付ける場合は、必ず元々離れている箇所(右図①)を差し込んで下さい。



両ホースが接続されている部分(右図②)を裂いた箇所を本体に差し込みますと、水が漏れる場合があります。

- ②ホースに傷もなく、黒い留め具がついていることを確認したら、本体へホースを取り付けして下さい。



グレーのホースをIN側（本体外側）のL字型部分へ差し込み、白いホースをOUT側（本体中央）のL字型部分へ、差し込んで下さい。

※ホースは約2cmほど入ります。

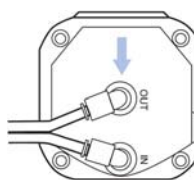
ホースの先端を水で濡らすと差し込みやすくなります。

- ③本体底部のL字型部分にホースがしっかりと固定されていることを確認したら、水を通して漏れていないか、ご確認ください。

ホースが2cm入っていないと、水が漏れる場合があります。

ホースの抜き方

本体底部のホース接合部についている可動式リングを指先で押しながらホースを引き抜きます。



可動式リングを指先で押しながら



水漏れ確認手順

eSpring浄水器
ビルトイン型

水漏れ確認をする前に、安全確保のため、次の注意事項を必ず守ってください。

- 電源プラグをコンセントから抜いて、浄水器の電源を完全に切って下さい。
- 水漏れ点検の作業中は、本体のまわりにタオルなどを重ねて置いて下さい。

補助水栓本体やホースに残っている水を抜く方法

止水栓を閉めた後、補助水栓ハンドルを浄水モードにして、水が出なくなるまで待ち、その後にハンドルを止水位置にあわせて下さい。
(止水栓がない場合は、ハンドルを止水位置にあわせて下さい。)

※この作業が終わりましたら、下記の確認手順へお進み下さい。

I用補助水栓
ハンドル止水時

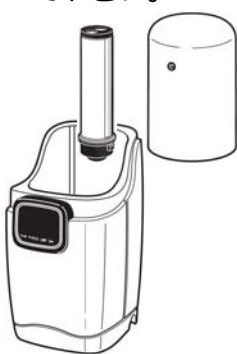


II用補助水栓
ハンドル止水時



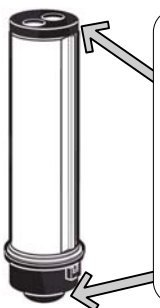
本体内部からの水漏れ確認手順

①フィルターと紫外線 (UV) ランプを本体から外して下さい。



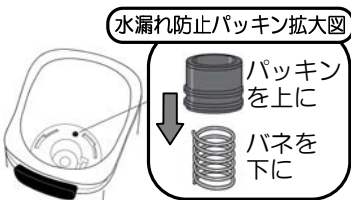
フィルターを本体から取り外すときに、フィルター内部にたまっていた水が底部から漏れますので、モニターにかからないようにご注意ください。
本体内部に水が残っている場合は、水を捨ててからタオルなどで内部を拭いて下さい。

②紫外線 (UV) ランプおよびフィルターに、変形や破損などが無いかな、ご確認下さい。



紫外線ランプの上下ゴムパッキンをご確認下さい。
①パッキンに変形や損傷がないか。
②パッキンがきちんと溝についているか。
※位置がずれている場合は、つけ直して下さい。
変形や破損がある場合は…相談ホットラインへご連絡下さい。

④本体内部に水漏れ防止パッキンがあるか、黒いパッキン部分を上から押して戻ってくるか、ご確認下さい。



※パッキンは2mmほど飛び出た状態が正常です。

⑤紫外線 (UV) ランプとフィルターを本体に取り付けします。



フィルターの“eマーク”が正面の位置にきているかチェック!

フィルターを時計回りに回してみ、動かずに止まっていれば正常です。
もし動くようなら、しっかり止まる位置まで回して下さい。

⑥本体のフタは開けたまま水を通して、フィルター底部から水が漏れていないか、ご確認下さい。

水漏れが直らない場合は⑤に戻り、取り付け直しをして下さい。

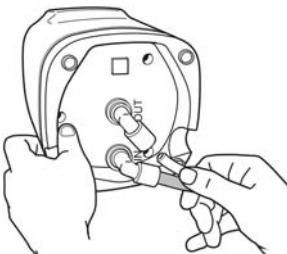
本体底部からの水漏れ確認手順

①本体からホースを外して、ホースの先端に傷がないか、ご確認下さい。

ホースに傷がある場合は、傷のある部分をカッターなどで切り取って下さい。
※ホースが外れない場合は、下記の「ホースの抜き方」をご覧ください。

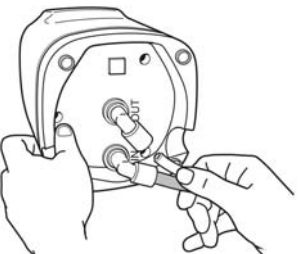
②ホースに傷がないことを確認したら、本体へホースを取り付けして下さい。

I用補助水栓の場合



白ホースをIN側(本体外側)のL字型部分へ差し込み、青ホースをOUT側(本体中央)のL字型部分へ、差し込んで下さい。
※ホースは約2cmほど入ります。

II用補助水栓の場合



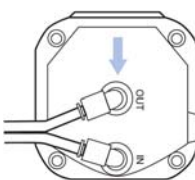
緑ホースをIN側(本体外側)のL字型部分へ差し込み、青ホースをOUT側(本体中央)のL字型部分へ、差し込んで下さい。
※ホースは約2cmほど入ります。

③本体底部のL字型部分にホースがしっかりと固定されていることを確認したら、水を通して漏れていないか、ご確認下さい。

ホースが2cm入っていないと、水が漏れる場合があります。

ホースの抜き方

本体底部のホース接合部についている可動式リングを指先で押しながらホースを引き抜きます。



可動式リングを指先で押しながら

